



オープンから15年
ゆ〜む入館者
250万人達成!

平成9年7月にオープンしてから15年目を迎えた「桂の関温泉ゆ〜む」。10月20日、入館者が250万人に達しました。

記念すべき250万人目に来館したのは村上市在住の松田和久さん。記念品として、新米コシヒカリ4kg入りのミニ俵と女川ハム・もちの詰め合わせが贈られました。松田さんは「ゆ〜むは家族でよく利用しています。今日も家族4人で来ました。ビックリしていますが、とても嬉しいです」と喜んでいました。

《ゆ〜む入館250万人達成まで》

平成9年7月18日	オープン
平成14年8月20日	100万人
平成17年11月5日	150万人
平成21年5月3日	200万人
平成24年10月20日	250万人



みんなが集まる場所になれば…
朴坂集落に
『古民家カフェ』オープン

豊かな田園風景の一角にこのたびオープンした『古民家カフェ元麴屋』。オーナーは朴坂集落の佐藤隆平さんで、妻の恵美子さんと夫婦二人三脚で営んでいます。メニューはビーフカレーやパスタ、ケーキ、コーヒーなどがあり、作業小屋を改修したカフェと庭に広がるテラスが、ゆったりとした空間となっています。

カフェの噂が口コミで広がり、村内だけでなく、村外からもたくさんの人が訪れている状況で、佐藤さんは「今までお世話になった方たちへ恩返しができたら嬉しい。このカフェはみんなの共有の場として、みんなに育ててもらえたらありがたいです」と待ちに待ったオープンを喜んでいました。

冬期間は休業になりますが、来春のオープンに向けて現在、新メニューを検討中です。

このたび開催された「新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民大会2012」で、高橋かな江さんに県防犯協会及び新潟県警察から表彰状が贈られました。

これは、子どもたちを交通事故や不審者から守ろうと取り組んできた見守りボランティア活動が評価されたもので、高橋さんは、村内の小学校が合併した平成22年4月から毎日、関川小学校前の横断歩道などで子どもたちを見守ってきました。

高橋かな江さん（下関）に
県防犯協会表彰



高橋さんは「朝、子どもたちが元気な顔で登校してきてくれるのが一番嬉しい。登校時間は出勤する人たちの車も多く、事故が心配です。また下校時は、信号が赤でも前の歩行者についていってしまう子どもたちも多いので気を付けて見えています。事故に遭わないでほしいし、事件にも巻き込まれないでほしい」と子どもたちの安全を願っていました。

表彰おめでとうございます。



仮装って楽しいな!

ピーカーブー ハロウィンパーティー

10月26日、スマイルサークルピーカーブー（田村優子代表：平内新）主催のハロウィンパーティーが村民会館で行われました。当日は魔女やディズニーキャラクターの衣装を身にまとった約40人の親子が参加。パーティーでは、カボチャをたっぷり使ったカレーライスをみんなで食べたほか、絵本の読み聞かせや昨年好評だったお化け屋敷を楽しみました。

猫の衣装で参加した五十嵐菜々美ちゃん（上川口）は「お化け屋敷は怖かったけど、お化けから逃げるのが楽しかった。また、ハロウィンパーティーに来たい」と喜んだ様子で、主催者の田村さんは「子どもたちが思う存分楽しんでくれたらいい。この一体感が嬉しい」と話していました。

園児も大喜び! 保育園に人形劇がやってきた

10月5日、下関保育園で劇団どら（東京都）による人形劇が上演され、村内全園児で観劇しました。劇団どらが村内保育園で人形劇を上演するようになってから30年以上が経過。園児たちに「本物」を見せてあげたいというのがきっかけでした。

この日は、園児向けに脚色した日本の狂言を5本立てで上演。いざ人形劇が始まると、リズミカルな人形の動きや掛け合いに子どもたちも大喜びで、笑い声の絶えないあっという間の60分となりました。

劇団どらで代表を務める宮原大刀夫さんは「人形劇を通して、何が正しくて、何が悪い事なのかを幼児期に認識させたい。平和な社会といい家庭を築くことを人形劇から学んでほしい」と話していました。「来年は違う人形劇を持ってくるね」宮原さんの言葉に園児たちは一年後の再会を楽しみにしていました。



関川小児童 自慢の 「大したもん蛇米」を収穫!

11月には新潟市内でPR!



軍手に鎌、そして長靴。10月9日、下関地内にある関川小学校田で「大したもん蛇米2012」の稲刈りが行われ、3年生と5年生の児童あわせて95人が参加しました。当日は講師として児童の祖父母や地域ボランティアの皆さん約20人も参加。子どもたちは稲刈りの方法やはさがけなどについて指導を受けながら約1時間にわたり作業を行いました。

加藤遼太郎君（5年・下関）

は「稲刈りは初めての経験でしたが、実際やってみて楽しかったです。僕たちは農家の人たちのおかげでおいしいご飯を食べることができているので感謝したいです」と話していました。

今回収穫された「大したもん蛇米2012」は、11月2日に5年生児童が新潟駅、万代、新潟ふるさと村でPR活動を行う予定のほか、学校給食や謝恩会の場で使用される予定です。